

環境心理生理運営委員会 2009年度第2回
議事録（案）

日時：2009年7月30日 17:00～

場所：建築学会 305会議室

出席者：主査 大井尚行

幹事 榎 究

委員 讃井純一郎 西名大作 大野隆造 宗方淳

議事

議事録確認 2008年度第4回（2009年3月16日）

2009年度第1回（2009年5月21日）

報告事項

(1) 環境工学本委員会 2009年度第2回

資料：2009年度第2回環境工学委員会議題（大井による書き込み）

- ・2010年度活動計画案・予算原案、講習会等事業企画書の提出 10/30 締め切り
- ・代議員等による委員会活動評価
概ね問題はない。運営委員会の自己評価：11月に評価依頼の予定
- ・2010年度大会（富山）
11/20 OS/PS 研究集会企画締め切り。9月に概要を本委員会に知らせて欲しい
- ・2010年度開始特別研究委員会公募
9月本委員会までにある程度調整が必要。特別研究委員会は複数分野にまたがるもの。
- ・2010年度開始〔若手奨励〕特別研究委員会公募
委員は全員40歳以下であること。10/30 締め切り。積極的に応募を促してほしい。
- ・2010年度技術部門設計競技の課題検討ならびに実施の依頼
提案があれば9/25本委員会へ。今年は水環境だった
- ・シンポジウム等開催前後日の委員会（若手の集まり？）旅費の執行要望（歴史・意匠）
税法上の問題もあり認めない方向でと回答した委員会が多い。幹事グループが検討。
- ・環境工学用教材
本委員会で未提出原稿催促を促された
（7月末締め切り→実験用教材と同時に刊行のスケジュールが確定している）
- ・教育賞（教育業績）候補業績推薦
候補者がいれば推薦。9月本委員会へ
- ・小委員会・WG委員公募結果
環境心理：0名、感覚・知覚心理：不採用1名、ヒューマナイジング：1名
- ・シンポジウム等実施報告および実施計画
音 スピーチプライバシー：44名
空気 臭覚測定法：33名
光 11/24（火） 建築学会近畿支部光環境部会シンポジウム（共催）【関西】
ピーター・ボイス名誉教授講演「照明により視作業性を高められるか？」
11/27（金） 光環境運営委員会シンポジウム【関東】

ピーター・ボイス名誉教授講演

「ヒューマンファクターに基づく次世代オフィス照明の設計法」

12/1 (火) 第8回光環境デザインシンポジウム【関東】

「光を巡る設計プロセス—観察と発見—」

12/5 (土) 光環境シンポジウム【関西】「空間を魅せる光と色 — 視覚のマジック II」

・環境工学研究者名簿の使用許諾

新名簿になった時点で、事務局がメールを出す体制にする予定

(2) 小委員会活動報告

・感覚・知覚心理小委員会

6/6 定期的にシンポジウムを開催していくという方針を確認

被験者の数の問題をやってはどうかということになった

7/25 シンポジウムを12/12に大阪で開催。講師：小島、秋田、山中（→承諾を得ている）

次回、10/17開催予定

・ヒューマナイジング小委員会

6/5 講師：平沢氏の話伺った

9月WS開催

(3) その他

審議事項

(1) 環境心理ワークショップの詳細

現在11名程度。→ここ数日で声掛け

(2) 環境心理生理チュートリアルについて

9/18申し込み締め切り

地方巡業をやってはどうか（関西、福岡が候補）との提案→福岡で（11/28を候補とする）

(3) 環境心理生理関係の刊行体制の立て直し

・学術用語集

7名は終了、途中が3名、5名は何も出ていない（辻村氏の把握による）

辻村・山田氏と相談し、大井主査が方向性を探る

・尺度ハンドブック

刊行委員会に連絡がないので、調べて欲しいとの依頼。刊行委員会の予算も使っているため、必ず出版すべき。他の委員が引き継ぐことも視野に入れて小島主査の意向を確認する。

・今後の刊行計画について

特定のトピックでやってはどうか。翻訳ものはありえるか。事例の紹介：ヒューマナイジングの研究会、見学会の紹介。

・人間環境学の改訂が考えられる。第6版で印刷が悪くなったことを朝倉書店に指摘し、対応について返事を待っているところ。使ってみての要望を取り込む。周辺の書籍を見渡して考えてみてはどうか。建築以外でも興味深いトピックはある

(4) シンポジウム等企画について

・感覚・知覚心理小委員会

12/12 前述：開催を承認

・計画系との合同企画

テーマ（論文タイトルに含まれるワード）のみで括るのではなく、若手のWGでディスカッション

ンしてテーマを練った上でオーガナイズするのがいい。

WG 委員候補 環境行動小委より伊藤俊介、佐藤将之、橘弘志（内諾済）

環境心理生理運営委より：宗方淳、吉澤望、古賀誉章、高橋正樹→大井主査より依頼

目的：問題点の共有と多様なアプローチ

時期：今年度中に実施

特別研究委員会として申請してはどうかとの提案もあったが、急ぐ必要はなさそう

(5) その他

来年度大会研究集会（協議会、懇談会、PD）企画（久野委員長から示唆あり）

★アイデアをメーリングリストにお寄せください

次回以降日程案（本委員会日程にそろえる）

9月25日(金) 11月18日(水) 1月22日(金) 3月16日(火)

いずれも17:00～